

令和7年 四・秋冬番茶情勢について

令和7年10月14日現在

J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況

- (1) 気温は、9月から10月上旬にかけて平年より高く推移しました。
(2) 降水量は、9月上旬～中旬は平年より多く、9月下旬以降は少なくなりました。

(アメダス菊川牧之原)

時 期	平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
	本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
9 月	25.3	+2.6	350.5	+77.7	201.5	+42.7
10月上旬	21.8	+2.1	4.0	▲102.8	37.6	▲11.9

2 生産状況

- (1) 10月10日頃から、県内全域で秋冬番茶の生産が開始されました。
(2) 圃場によって芽伸びの差が大きく、芽伸びが良い圃場から摘採を開始しています。芽伸びの良い圃場でも例年を下回る反収となっており、減産が確実視されています。
(3) 価格高の状況から、例年収穫していない圃場を摘採する生産者も見られます。また、秋冬番茶期の操業を数年振りに行う工場もあるなど、生産意欲は高まっています。
(4) 生葉の引合いが強く、生葉価格の設定が難しい茶期となっています。

3 流通状況

- (1) 降雨の影響から断続生産となっていることも重なり、流通量が少なく引き合いは強い状況が続いています。
(2) 現在の取引価格は、1,400円前後から1,500円台で、(株)静岡茶市場の入札では、番茶1,650円前後、秋てん茶3,800円～4,000円、出物450円～700円となっています。日々、取引価格は上昇している状況で、落札価格が相対取引の基準となり、相対価格も上昇傾向で推移しています。
(3) 荒茶価格が製品原価を上回る状況から、止むなく仕入れを終了する茶商も見られますが、流通量は膨らまず、引き合いの強い状況は今後も続く見込みです。

4 その他

- (1) J Aグループでは、茶業関係者の労務改善に向けて、秋冬番茶期の日曜販売の中止（休日取得）に取り組んでいます。静岡県茶商工業組合への周知及び協力を要請しました。

5 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

※茶市場近似累計数量対比（10/14現在）

（単位：kg・円・％）

項 目		令和7年		月 日	令和6年		前年比	
		数量	単価		数量	単価	単価比	単価差
静岡 茶市場	県内産	146,036	1,654	10/9	153,602	337	490.8	+1,317
	(内入札)	31,247	2,318	—	—	—	—	—
	県外産	31,777	1,648	10/8	35,893	343	480.5	+1,305
鹿児島茶市場		211,145	1,732	10/10	227,169	336	515.4	+1,396

(株)静岡茶市場情報（10月14日現在）

県内産秋冬番茶は、各産地が出揃い、10月6日より秋てん茶の入荷も始まりました。県外産は、鹿児島県から10月8日に初入荷があり、県内産同様に価格は例年を大きく上回る取引状況となっています。

以 上